

●花のリスト

○春から夏に咲く花

秋(9月頃～)に種を播いて、春から夏に花を咲かせる草花で、比較的入手しやすい15種類を紹介しています。
参考にしてください。



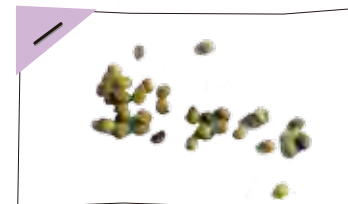
パンジー・ビオラ

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
少なめ
- ・土壌PH
6～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
18株/㎡



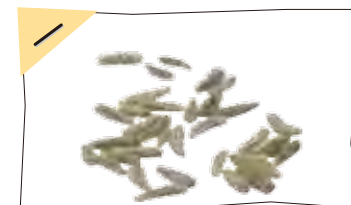
スイートアリッサム

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
少なめ
- ・土壌PH
6.5～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ノースポール

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
少し
- ・土壌PH
中性
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
16株/㎡



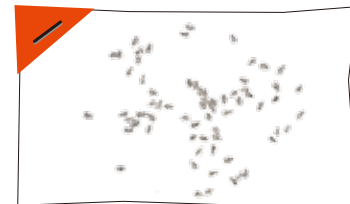
ポピー

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
しない
- ・土壌PH
選はない
- ・種播きの方法
(直播き)・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



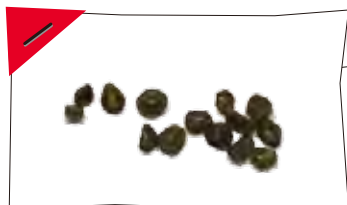
デージー

- ・種を播く時期
8～9月
- ・覆土
少し
- ・土壌PH
アルカリ、中性
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
25～30株/㎡



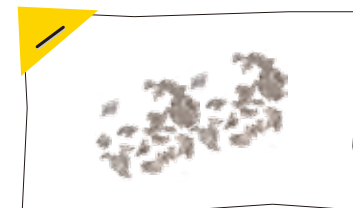
プリムラ

- ・種を播く時期
6月
- ・覆土
なし
- ・土壌PH
5.5～6.5
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
36株/㎡



ムルチコーレ

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
種が隠れる程度
- ・土壌PH
中性
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ネモフィラ

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
選はない
- ・種播きの方法
(直播き)・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



キンギョソウ

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
5～6
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



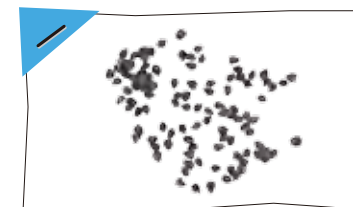
キンセンカ

- ・種を播く時期
9月
- ・覆土
軽く
- ・土壌PH
5.5～7
- ・種播きの方法
(直播き)・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
20cm間隔



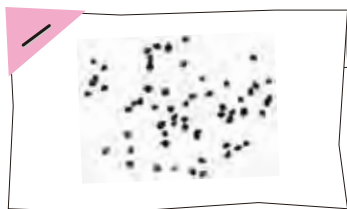
ワスレナグサ

- ・種を播く時期
9～10月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～6.5
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
20株/㎡



ナデシコ

- ・種を播く時期
9～10月
- ・覆土
種が隠れる程度
- ・土壌PH
アルカリ性
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ルピナス

- ・種を播く時期
6～9月
- ・覆土
種が隠れる程度
- ・土壌PH
7～8
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ディモルフォセカ

- ・種を播く時期
8～9月
- ・覆土
種が隠れる程度
- ・土壌PH
5～5.5
- ・種播きの方法
直播き 箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
20株/㎡



スィートピー

- ・種を播く時期
9～10月
- ・覆土
種が隠れる程度
- ・土壌PH
7～8
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
20株/㎡



●花のリスト

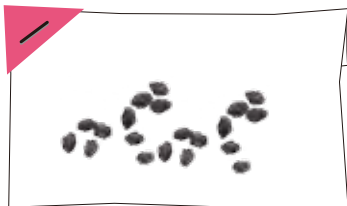
○夏から秋に咲く花

春から夏にかけてに種を播き、夏から秋に花を咲かせる草花で、比較的入手しやすい15種類を紹介しています。
参考にして下さい。



インパチェンス

- ・種を播く時期
4～5月
- ・覆土
少なめ
- ・土壌PH
6～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡
- ・暑さに弱いので、半日陰で育てる



ナスタチューム

- ・種を播く時期
4～5月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
7以上
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



マリーゴールド

- ・種を播く時期
4月下旬～5月、7月下旬
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ペチュニア

- ・種を播く時期
4月下旬～5月、7月下旬
- ・覆土
なし
- ・土壌PH
6～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



トレニア

- ・種を播く時期
4月中旬
- ・覆土
少し
- ・土壌PH
6～6.5
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
20株/㎡



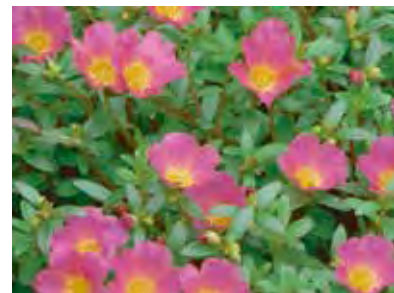
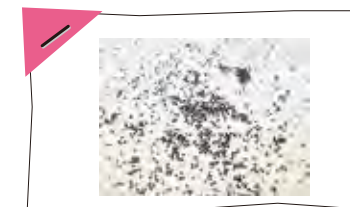
ニチニチソウ

- ・種を播く時期
5月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
選はない
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ポーチュラカ

- ・種を播く時期
4、5月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～6.5
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
(さし木)
- ・花壇の植え付け間隔
20株/㎡



ヒマワリ

- ・種を播く時期
4～6月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～7
- ・種播きの方法
(直播き)・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
12～16株/㎡



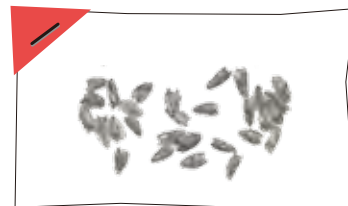
ケイトウ

- ・種を播く時期
4～7月
- ・覆土
少なめ
- ・土壌PH
5.5～6
- ・種播きの方法
(直播き)・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ジニア

- ・種を播く時期
4月中旬～7月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～8
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



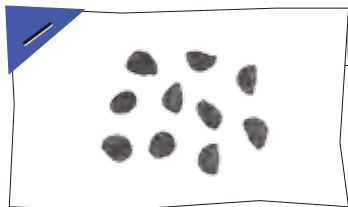
サルビア

- ・種を播く時期
4～7月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6～6.5
- ・種播きの方法
直播き・(箱播き)
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



アサガオ

- ・種を播く時期
5月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6.5～7.5
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25cm間隔



コスモス

- ・種を播く時期
7月下旬
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
5～6
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
18株/㎡



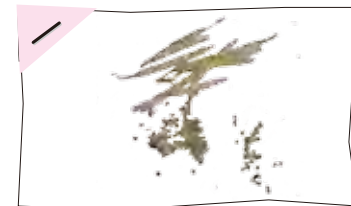
アゲラタム

- ・種を播く時期
5月
- ・覆土
少なめ
- ・土壌PH
5～7
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡



ストック

- ・種を播く時期
8月～9月
- ・覆土
あり
- ・土壌PH
6.5～7.5
- ・種播きの方法
直播き・箱播き
- ・花壇の植え付け間隔
25株/㎡





●デザイン(見せ方、飾り方)

花壇

◆デザインの基本または手本は「自然」です。
人に感動を与える花壇とは、植物が生き生きと育っている姿からその生命力が感じられるものではないでしょうか。

◆そのために必要なこと

- ・植物に合った環境を考えること
- ・植える場所にあう植物を見つけること
- 自然の状態で成長している美しい姿をみて記憶しておくことが大切
- ・奇抜につくり込むよりも「在るべきところに在るように」が基本



(地下鉄薬院駅)

○ガーデンデザインに求められる空間は、

- ・気持ちいい屋外空間
- ・安らげる空間、癒しの空間
- ・使い勝手のいい空間
- ・植物を育て、管理していく拠り所となる場所
- ・緑と花のまちづくりとしての役割を分担している空間



(修猷館高校)



○花壇づくりの基礎知識

●草花の種類と生育特性

◆1・2年草

群植されて引き立つことを目的に栽培されることが多いので、花つきが密で色彩の華やかなものが多い。



◆宿根草(多年草)

手がかからない種類が多く、混植等を行うときはその性質を合わせることも重要。

◆球根類

群植にすることが多い背丈が低い小型球根。
秋植え球根、春植え球根等。

◆その他(低木、地被等)

花や実を楽しむカラーリーフやコニファー等。



●草花を育てるために必要な作業

◆「計画」

場の特性に基づいたテーマを設定する。
季節ごとの花の色や構成などを検討し、これに合致した植物を選定する。



●デザイン(見せ方、飾り方)

花壇

花壇制作の流れ

① 花壇の位置する環境を知る

② デザインのテーマを決める

③ 植物の選択と具体的デザインを決める

④ 今回の植物リストを作成する

⑤ 花壇制作のための作業シートと方眼紙植栽図を作成

⑥ 植物調達リストの作成と予算の確認

⑦ 材料調達

①から⑦まで2010年に行われた“福岡城さくらまつり”の花壇づくりを例にとって説明します。

① 花壇の位置する環境を知る

方位はどのような向きなのか、それによって太陽はどのようなルートを通して、一日の光はどのように当たるのかを確かめたり、一日の温度の移り変わりを調べたりします。四季の温度の状況や風はどのように流れるのか近くに川があったり、海があったりする場合、風の流れはどう変わるのかなども考えてみます。車道が近かったり、車の通行量が多いと排気ガスの問題はどうかなど色々なことを総合的に知ることが大切



設置予定場所

② デザインのテーマを決める

その場所のもつ事情、歴史的なこと、また色々なエピソード、そこに求められるものなどを知ることによって手がかりにテーマを決めます。

また、事例や他の作品もヒント、手がかりになりますので、情報を集めたりすることも大切です。

また、みんなで意見交換も積極的に行いましょう。

“福岡城さくらまつり”花壇のテーマ **春らんまん**
春のうたげ



●デザイン(見せ方、飾り方)

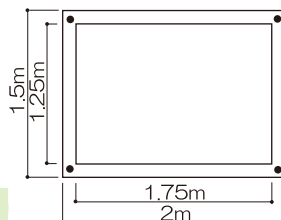
花壇

③ 植物の選択と具体的デザインを決める

テーマにそって花壇のかたちを検討する前に大まかなかたちや花の並び、種類を考えます。何案か考えて他の人に意見を聞いたりして決めていきましょう。

そして、依頼者(公共団体)や所有者に説明しなければなりません。

予算のことも考慮しながらデザインを詰めていきます。1回ではなかなか決まらないので、引き出しをいっぱい持っておいて相手の要求と協調できるようにしましょう。

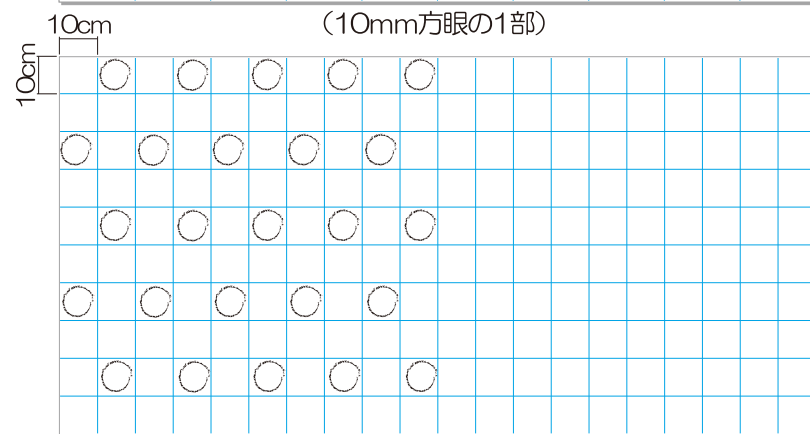
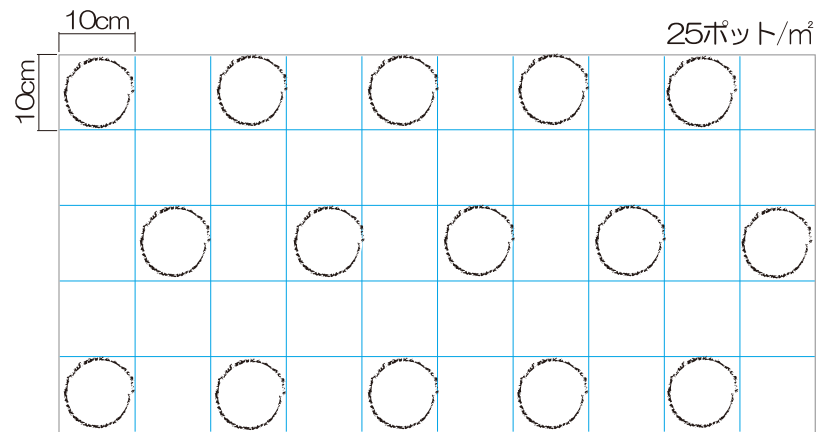


④ 今回の植物リストを作成する

デザインが決まれば、植物のリストを作成します。環境のこと、コストのことなどを考慮しながらお金の計算につながるように、また市場単価などに合うリストを作成すると後々便利です。

品種	規格	1基当り数量
プリムラ・マラコイデス(ピンク)	13.5cmポット	20
プリムラ・マラコイデス(白)	13.5cmポット	5
スイートアリッサム(白)	9cmポット	10
プリムラ・ポリアンサ(ピンク・赤)	15cmポット	15
ネモフィラ・メンジューシー(青)	9cmポット	10
クリサンテマム・ムルチコーレ(黄)	9cmポット	5
コニファー・クレスタ(ライトグリーン)	H=30~40cm	2
小計		67

⑤ 花壇制作のための作業シートと方眼紙植栽図を作成 方眼紙は10mmのものと5mmのもの、2種類あると便利です。



(5mm方眼の1部)
P.7、8に実際に花苗を置いた写真があります



●デザイン(見せ方、飾り方)

花壇

⑥ 植物調達リストの作成と予算の確認

植物調達リストの作成と予算の確認、花壇実現には、必ず予算があります。細かいリストの作成、緻密な数量計算、市場単価の調査を行うことで予算の調整がスムーズになります。

この部分を大まかにしますと後々ひびいてきますので、花壇の制作を段階的に進め、数社から見積が取れて判断できる力と時間の余裕を持ちましょう。

そのために、いつもシート作成や第三者にチェックしてもらうことが大事です。

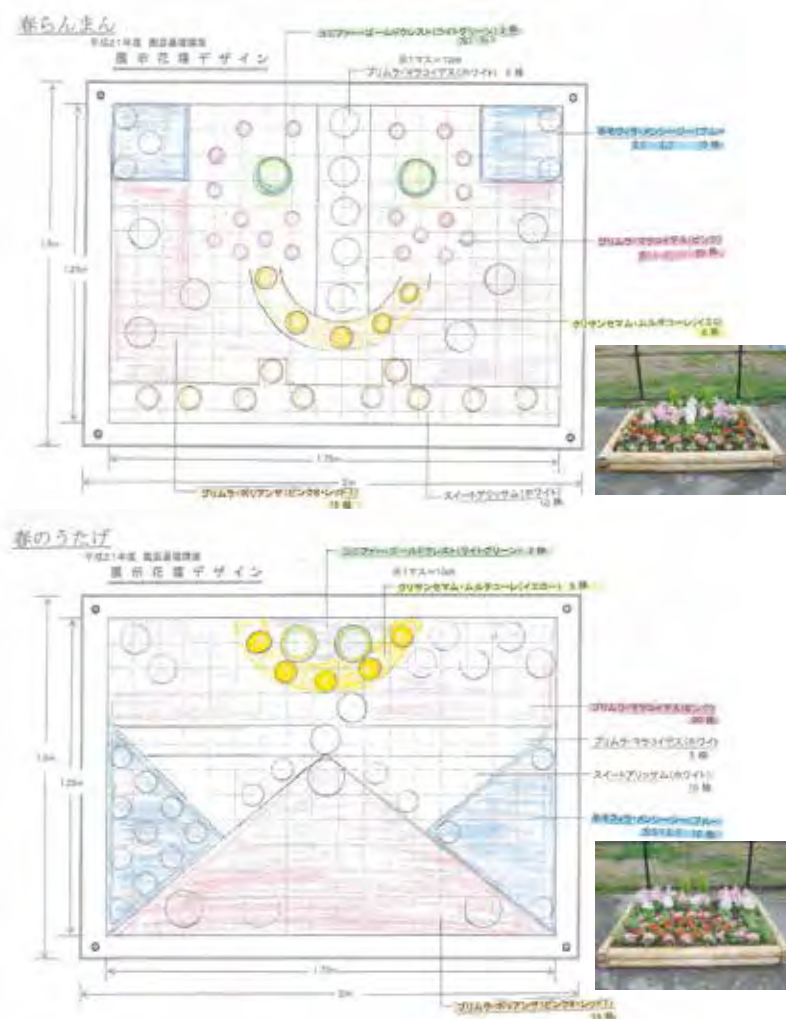
⑦ 材料調達

少量ならホームセンターなどで先にチェックしておきましょう。リストをもってチェックしないと衝動買いをしたり、求めるものがなく、別のものを買って後からチグハグになったりします。大量に購入の時は生産農家などハウス栽培等を知り、実物を確認し、見積を取り、決定し、材料はなるべく搬入してもらうことが大事です。



花壇1基分の材料

デザイン例



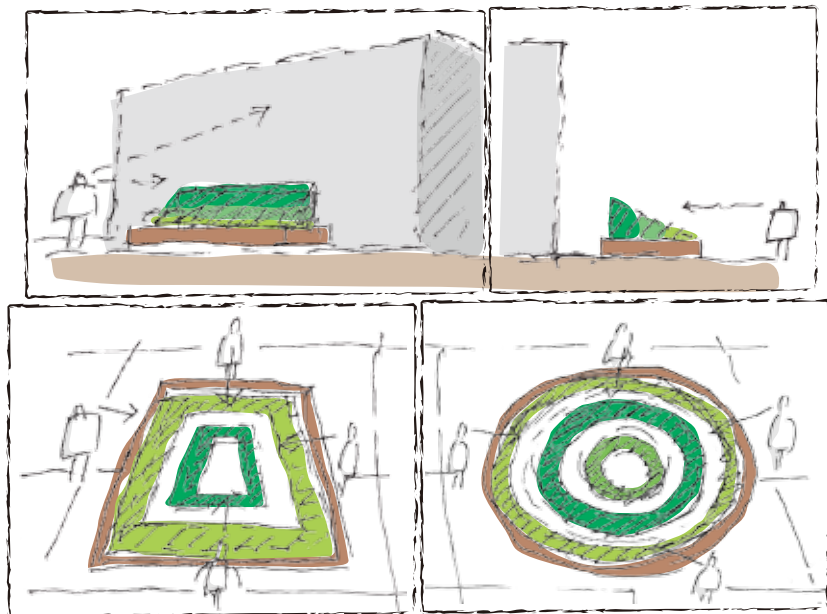


●デザイン(見せ方、飾り方)

花壇

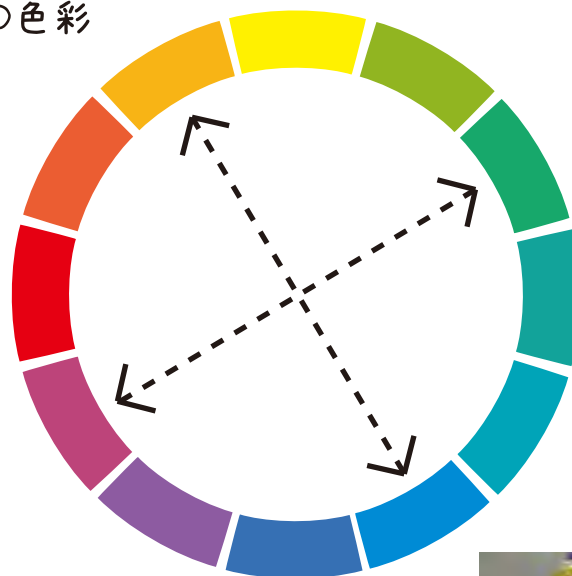
○見え方

建物が背景にある場合は、建物との調和を考慮しながら、樹種や色を選びましょう。前方に低いもの、後方に高いものを配植しましょう。



回りを道路や広場などで囲まれた花壇は全方位から見られるので、それを考慮した配植が必要です。中央に高いものを置いたり、全体を低めのもので大きな区分けのデザインをしましょう。

○色彩



色相環 (カラーサークル)



テーマ「川の流れ」

花壇の配色はとても大切なことです。配色を間違えるとせっかくの花壇が、インパクトのないものになる場合があります。現場に立ち、どのような色が合うか、しっかり検討しましょう。花がまちまちに用意され、複数の色でまとまりがつかないときは、中に白い花などを割り込ませると全体的にまとまりやすくなります。

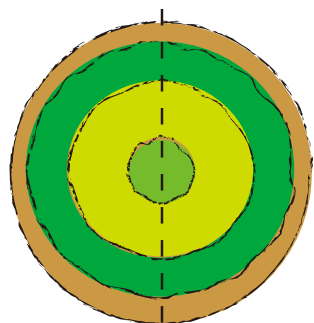


●デザイン(見せ方、飾り方) 寄せ植え

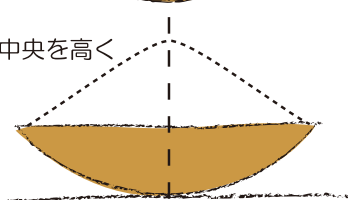
コンテナガーデンで大切なのは「構図」です。絵になるような「構図」をコンテナで作る場合は、まず、コンテナの形と植物のフォルムが美しく引き立てあうことが大事です。これが土台となって、個々の植物のフォルムや植物が生長していく過程を意識の上で整理し、組み合わせるのがコツです。

植物のフォルムをつかむには、植物の形を点、線、面、という形に分けて捉え、それを組み合わせるとバランスのとれた構図が作りやすいです。「点」は、ドット状に咲いている花。線は、グラス植物の葉や茎。「面」は、こんもりときれいな「丸い面」を形づくる植物や大きな葉っぱ。このような組み合わせで奥行き感や立体感が出ます。

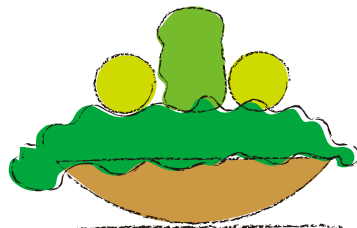
※ここでの「コンテナ」とは「容器」のことです。



中央を高く



(アイランドシティ中央公園入口)



●デザイン(見せ方、飾り方) ハンギングバスケット

ハンギングバスケットは、花と緑を吊るして飾る、いわば立体花壇ともいえるもので、庭、ベランダ、壁、柱など目の高さで鑑賞するため、見る人に強い印象を与えます。



テーマ
「秋の夕焼け」



テーマ
「秋の風」



テーマ
「ヨーロッパスタイル」



●デザイン(見せ方、飾り方)

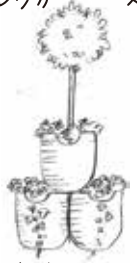
ガーデン制作のための作業シート

○作業シート

テーマ
・いつ ・場所 ・目的 ・どのようなイメージで
コンセプト
使用植物 (主) (副) (その他)
(ラフなイメージスケッチ)

自分で使いやすいノート、メモ帳、スケッチブックを使って作業シートをつくり、作品の記録、次への手がかりにしましょう。

○作業シートの具体例

テーマ ウェルカムコンテナガーデン ～空と緑と風～
・いつ : 2009年10月 ・場所 : アイランドシティ中央公園エントランス ・目的 : グリッピーキャンペーン会場入口を飾る ・どのようなイメージで: 「ようこそ公園へ」の気持ちを表現
コンセプト 公園入口に伊東豊雄さん設計の「ぐりんぐりん」、らせん状に連なる建物があります。この建物を背景に「ようこそ公園へ」の気持ちをコンテナで表現します。広々とした空と緑豊かなアイランドシティ、そこに吹く心地よい風をイメージしてデザインしました。
使用植物 (主)・コニファー(スパイラル): 受け継がれていくDNA ・コルジリネ: 未来への期待と希望 ・メラレウカ(スタンダード): 入口らしい雰囲気、「ようこそ」の気持ちを表す ・スホウチク: 空に伸びる竹で“まち”の発展、明るい未来 (副)・ガーデンマム ・ウィンターコスモス ・ガーデンシクラメン ・アザレア ・シロタエギク (その他) ・ハツユキカズラ ・アイビー ・斑入りヤブラン
(ラフなイメージスケッチ) メラレウカ  コルジリネ  スホウチク  コニファー (スパイラル) 
アイランドシティウェルカムガーデンの写真はP.53に掲載しています。